２０１３年6月３０日（日）　約１７０００歩　約１１ｋｍ　　　曇り　　参加者　　１３名

レポート　　大平

新緑の大野山から丹沢湖へ深呼吸のびのびハイク　※雨天中止

集　合:御殿場線谷峨駅9:05　　約11km

コース:谷峨駅→嵐→大野山山頂→丹沢湖(バス)15:00発→新松田駅

◎御殿場線国府津発8:35にて谷峨着9:03(無人駅)、自販機・トイレ有り。

★2012年4月には大野山往復でしたが、今回はさらに足をのばして丹沢湖まで行きます。

申込み:平野　090−9327−5691

前日仕事も終わり、思いついて、久しぶりの山登り、参加しょうと午後３時ちょっと前に伝助で参加チェツクを入れた。御殿場線は１時間に一本　９時到着の電車には全員が乗車してきており、谷峨駅前集会、平野さんが具合が悪くなり、急遽リーダ平嶋さんサブリーダ吉野さんということで説明を受ける。高橋さんの音頭で入念なストレツチをして、さあ～出発です。登りに弱い小生は置いて行かれないように前の方でついて行く。今日のリーダは比較的ゆっくりで、息もあがらず左右の景色もみながら比較的に楽に登れた。

前回の大野山登山の時もここに無人売店があった
女性群さっそく覗き込んで品定め

しばらく黙々と登り、もう頂上も近いのでは、と市川さん腕時計を見て、３５０何メートルという。腕時計も兼ねた高度計でした。えつ！誤差はどの位と聞くと、30mくらいとのこと。大野山標高 723m　駅の標高も考慮すればまだ半分も登っていないことに　がくっ！！！

奥行の長い階段は登りやすいです

適度に水分補給タイムがあり、息があがらず登れました。登りの辛さもリーダに左右されることを実感

もうすぐ頂上　牧草地の山　見晴が良く、お日様もちょっと顔を出してくれました

頂上のすぐ手前の休憩所にて大休止

皆さん疲れた様子はなし

今登ってきたところ　眼下に見渡せます

大野山山頂で昼食後　登頂記念写真を撮ってもらう。学生さんに“はいチーズ”と言われて、唱和出来ない男性群

下りは今回は丹沢湖の方に降りるが直行ではなく、尾根づたいに迂回して下りる道とのこと。順調に半分の距離をこなし３時のバスには楽勝と思っていました。

ところがどっこい　その後ピークがいくつもあり、下っては登るの繰り返し、計４、５カ所くらいピークがあった。疲れ始めた足には登りがきつい。以前この道を通ったという会長や市川さんはもっと楽な筈だったという。
そういえば　地図上では車の通れる道をそのまま行き、その先端から山道に入るようになっているのに、その車の道の途中でハイキング道はこちらという看板に誘導されてから、きつい山道になった。結果論ですが、この看板無視して車の道なりに行けばよかったのではないかと思ます。（次回のために）
さらに災難が　この写真の中に確かに山ヒルがいます。わかりにくいと思いますが

急に　ヒルがいた！いた！いた！と叫び声が山中に轟き渡ります

昨年の山ヒル騒動の話は聞いていた。話だけで十分体験はしたくなかったのですが。途中何度かＴさんが“離れているよ、止まって”と後ろから声がかかるが立ち止まるとヒルが寄ってくる。ずぼんに黒い斑点がいつの間にかくっ付いている。振り払いながら、立ち止まったら大変と先を争うようにして下りる。この写真はわれ先にと下っていく様子です。さすが山男　会長と市川さんたかがヒルくらいで逃げ回ることはしません殿りを務め遅れ気味の方をフォローしながら下ってきました。

舗装道路に出てヒル点検、靴の中にも３匹いました。吸い付かれなかったのが幸いでした。ほかの方もほぼ同様に何匹か靴下のところにくっついていた状態でしたが、吸い付かれた方は皆無でありました。写真はヒル検査中の福士さん

この日丹沢湖湖畔はしずかでした

これが山ヒルの拡大写真です
山道に鎌首を持ち上げて、左右に首を振って待ち構えていたました。
もう西丹沢はヒル大丈夫という話は昔の話になりました。
丹沢湖から新松田駅までバスで、途中平石さんが小田原までランニングして帰るという姿をバスの中からエールを送りました。駅前の花の舞で１１名ヒル騒動の話で盛り上がりました。